

# 障害者とスポーツ文献目録

## ーリハビリからパラリンピックまで

結城 俊也・富川 理充 共編

A5・340頁 定価(本体15,000円+税) ISBN978-4-8169-2813-0 2020年1月刊行

- 障害者の生きがいや生活の質の向上、地域社会との連携、健康長寿社会への貢献など、障害者スポーツに関する図書、雑誌記事を掲載する文献目録です。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が迫る中、リハビリとして取り入れられた障害者スポーツから、パラリンピックなど競技としての障害者スポーツまで、関連文献2,100点を収録。パラリンピック種目には競技に関する解説も記載しています。
- 「書名索引」「事項名索引」付き。

### 【収録項目例】

#### ■総論

障害者スポーツの歴史と現在  
 障害者スポーツをとりまく環境：法・制度、地域のとりくみ、教育機関のとりくみ、スポーツイベント・普及活動  
 障害者スポーツとボランティア

#### ■リハビリ編

障害者スポーツの変遷・現状と課題  
 障害者スポーツ実践者の運動機能・身体状態  
 障害者スポーツ実践者の心理  
 身体障害とスポーツ：総合、脊髄損傷、四肢切断・欠損、脳性麻痺、脳卒中・パーキンソン病  
 視覚障害とスポーツ  
 聴覚障害とスポーツ  
 知的障害とスポーツ  
 精神障害とスポーツ  
 発達障害とインクルーシブ体育  
 障害者スポーツテクノロジー：総合、義肢、車椅子  
 障害者スポーツの国際動向

#### ■競技編

各競技・大会：パラリンピック(パラリンピック総合、パラリンピック2020、その他過去の大会)、デフリンピック、スペシャルオリンピックス、その他の大会(全国障害者スポーツ大会、全国身体障害者スポーツ大会、その他国外大会)  
 各種目：アーチェリー、オリエンテーリング、グランドソフトボール、ゴールボール、ゴルフ、サッカー、スキューバダイビング、セーリング、ソフトボール、トライアスロン、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、パワーリフティング、ビーチバレーボール、ボウリング、ボート、レスリング、ローンボウルズ、空手、自転車、車いすフェンシング、ラグビー、柔道、水泳、馬術、野球、陸上競技、フロアホッケー、アイススレッジホッケー、スノーボード、バイアスロン、カーリング、その他…

### 編者プロフィール

結城 俊也 ゆうき・としや

23年間にわたり千葉中央メディカルセンターに勤務。現在、都内の障害者施設に勤務しながら、図書館等において医療健康講座を開催している。専門理学療法士(神経)、介護支援専門員、博士(医療福祉学)。著書は『認知症予防は絵手紙で! 単行本』(郵研社、2019)、『認知症予防におすすめ図書館利用術3『調べる力』で脳を活性化』(日外アソシエーツ、2019)他多数。

富川 理充 とみかわ・まさみつ

専修大学商学部教授/公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)理事。博士(体育科学)。スポーツ科学分野、主にコーチング、トライアスロンをテーマに研究。論文に「ビデオ映像およびモーションセンサを用いたクロール泳のストローク動作分析の比較」(2014)、「『体育』演習から「スポーツ」教育へと転換した大学教養体育の授業効果；一私立大学の実践事例」(2017)等。

2019.12

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845  
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■書店名	注文書	障害者とスポーツ文献目録 ーリハビリからパラリンピックまで	冊
		定価(本体15,000円+税) ISBN978-4-8169-2813-0	
		 9784816928130	

## 障害者スポーツの歴史と現在

## 障害者スポーツの歴史と現在

◆障害者スポーツは二度の世界大戦による傷病兵のリハビリテーションに取り入れられたことにより注目を集めた。当初は社会復帰を目的に行われていた障害者スポーツであったが、1948年にイギリスのストーク・マンデビル病院で障害者アーチェリー競技会が開催されたことを契機として、徐々に競技スポーツとしての側面にも耳目が集まり始めた。1989年に国際パラリンピック委員会が設立されると、ローマ大会が「第一回パラリンピック大会」と位置づけられることになり、今日に至っている。日本では1960年にストーク・マンデビル病院で研鑽を積んだ中村裕によって、車いすバスケットボールが導入されたことにより注目され始めた。その後各種競技団体が設立され、競技会が開催されるようになった。2020東京パラリンピックを前にした現在、競技スポーツとしての障害者スポーツが注目されている。一方において障害のある人もない人も、そして高齢者等も含めたスポーツ振興が統合的に進められようとしている現状である。

『第二次世界大戦前の日本における戦傷病者リハビリテーションの歴史的研究』 谷中誠著 [横浜] [谷中誠] (1994) 137p 27cm

## 【雑誌記事】

「パラリンピックと傷痍軍人：米国のケース」(昇亜美子)『日本財団パラリンピックサポートセンターパラリンピック研究会紀要』日本財団パラリンピックサポートセンター (11) 2019.3 p17~39

「スポーツ権の観点によるわが国の障害者スポーツの現状と課題」(稲葉慎太郎, 青山将己)『天理大学人権問題研究室紀要』天理大学人権問題研究室 (22) 2019.3

「障害者スポーツの歴史と展望」(初山泰弘)『リハビリテーション医学』日本リハビリテーション医学会, 医学書院 (発売) 41 (11) 2004 p768~771

「障害者スポーツの現状と課題」(初山泰弘)『ライフサポート』ライフサポート学会 11 (2) 1999 p30~33 p772~775

## 【図書】

『中村裕—日本のパラリンピックの父』佐野慎輔文, しちみ楼絵 小峰書店 2019.3 162p 22cm (オリンピック・パラリンピックにつくした人びと) (書誌記: 文献あり年譜あり年表あり) 1400円 ① 978-4-338-32206-5

【目次】好奇心が人を動かす, 「リハビリ」って何?, 人生の転機が待っていた, 運命の旅, 障がい者だってスポーツできる, パラリンピックがやってくる, なぜ, 海外の選手は明るいのか, 障がい者には職業を, 障がい者も税金をはらいたい, 太陽の家に命を吹きこむ, 情熱かたむけた手づくりのフェスピック, 妻と子と, そして死と…

【内容】障がい者がスポーツをすることなど, 考えられなかった時代。中村裕は、1964年東京パラリンピックを成功にみちみっていた。彼の強い熱意が、障がい者の未来を

## 各種目

## ボッチャ

◆重度脳性まひや同程度の四肢重度機能障がいのある人のために考案されたパラリンピック独自の球技。最初にジャックボールと呼ばれる白いボールを投げ、続いて赤と青の各6個のボールを投げたり、転がしたりして、目標となるジャックボールに可能な限り近づける競技。男女の区別はなく、障がいの内容や程度などにより4クラスに分けられ、個人戦、ペア戦、団体戦(3人)の3種類が行われる。

## 【雑誌記事】

ボッチャ競技における選手強化とパラリンピックムーブメント(特集障害者スポーツとパラリンピック)」(村上光輝)『福祉介護テクノプラス』日本工業出版 12 (10) 通号142 2019.10 p20~23

「見ても、やっても、みんなを笑顔にするスゴいスポーツ! ボッチャの魔法」『パラスポーツマガジン: 障がい者スポーツ&ライフスタイルマガジン』実業之日本社 5 2019.5 p4~19

「英文原稿の紹介 座面傾斜が脳性麻痺児におけるボッチャボール投球時の姿勢安定性に与える影響」(Yung-Shen, Tsai, Yi-Chen, Yu, Po-Chang, Huang, Hsin-Yi Kathy, Cheng, 矢作公佑 [訳])『理学療法東京』東京都理学療法士協会 6 2018 p40~42

野美由紀)『発達心理臨床研究』兵庫教育大学学校教育学部附属発達心理臨床研究センター 21 2015 p63~70

「ボッチャ競技における理学療法の関わり(特集身体障害者スポーツと理学療法の関わり—種目別競技と理学療法)」(奥田邦晴)『理学療法ジャーナル』医学書院 44 (10) 2010.10 p881~886

「取組紹介 ボッチャで目指せパラリンピック」(吉川博史)『肢体不自由教育: 手足の不自由な子どもたち: 日本肢体不自由教育研究会機関誌』日本肢体不自由児協会 (188) 2009.1 p50~53

「ボッチャ競技の解説(特集障害者スポーツ(1))」(古賀稔啓, 渡辺美佐子)『リハビリテーション』鉄道身障者福祉協会 (506) 2008.8・9 p24~32

「みんなのスポーツ(2) だれでも楽しめるスポーツ、ボッチャ」(佐竹隆子)『ノーマライゼーション: 障害者の福祉』日本障害者リハビリテーション協会 22 (5) 通号250 2002.5 p52~55

「実践報告 世界に広がる体育・スポーツの世界—ボッチャ競技について」(松原豊)『肢体不自由教育: 手足の不自由な子どもたち: 日本肢体不自由教育研究会機関誌』日本肢体不自由児協会 通号145 2000.5 p38~45

既刊

●障害者への理解を深めるために重要な18項目の解説と図書2,689点  
障害者ととともに生きる本2500冊

野口武悟・加部清子・生井恭子 共編

A5・410頁 定価(本体13,000円+税) ISBN978-4-8169-2665-5 2017.6刊